

政友小学校で河川環境学習を開催しました。

政友小学校全校児童16名を対象に河川環境学習を行いました。

パックテストや透視度計による銅山川（通称、伊予川）と吉野川の水の水質を測定し、比較しました。また、事前に伊予川で採集された水生生物を観察し、身近な川の生物について学習しました。

【実施内容】

日 時：平成23年11月6日(日) 10:00～10:50

場 所：伊予川 平和橋周辺

参加者：政友小学校 全校生徒 16名
徳島県西部総合県民局三好庁舎 1名
フジタ建設コンサルタント 4名

内 容：1 伊予川と吉野川のCOD測定、透視度測定
2 指標生物による水質測定（水生生物観察・水質判定）

感 想：吉野川の水が入った透視度計を上から覗くと、すぐに標識板のマークが見えたので驚きました。伊予川も吉野川と同じくらいの透視度であつたらいいのになあと思いました。パックテストでは、中に入った水の色が変わっていくのが不思議でした。たくさんの生物がすむ伊予川であってほしいと思いました。

【活動状況】

○あいさつ 代表児童からのあいさつがありました。



○COD測定（伊予川の水と吉野川の水の比較）



パックテストの説明を受けた後、①伊予川（本流）、②伊予川（流れがなく、水がたまっているワンドのようなところ）、③吉野川（伊予川合流付近）の3箇所のCOD測定を3班に分かれて行いました。



COD測定の反応時間を待つ間に、他の川の水質調査結果について学習しました。川の流れや周囲の環境などにより水質は大きな影響を受け、川の水の汚れも違ってくことを学びました。



全員が測定結果を発表し、調査結果表に貼り付けられたシールの数で、3箇所の水質を確認しました。多少のばらつきがありましたが、それぞれ最も多く測定されたCODの値は以下のとおりでした。

①伊予川（本流）：4、②伊予川（ワンドのようなところ）：6、③吉野川（合流付近）：4

○透視度測定（伊予川の水と吉野川の水の比較）



COD測定と同じ場所の水を代表児童が測定しました。

①伊予川（本流）82cm、②伊予川（ワンドのようなところ）65cm、③吉野川（合流付近）130cm

吉野川（伊予川合流付近）の測定では、標識板を動かさずに見えたことに驚き、水のにごり具合の違いを実感できました。

○指標生物による水質測定（水生生物観察・水質判定）

事前に採集された伊予川の水生生物を観察しました。



資料を見ながら観察したり、手に乗せたりと熱心に取り組む姿が見られました。



ドジョウ、ヨシノボリ、トンボの幼虫、ミズカマキリ、サカマキガイなどを観察しました。



伊予川（ワンドのようなところ）で採集された水生生物のうち、指標生物は「水質階級Ⅲ」（きたない水）に分類されるミズカマキリとミズムシ、「水質階級Ⅳ」（とてもきたない水）に分類されるサカマキガイが確認されました。

最後に、川の水をきれいにするために、自分たちでできること、川の水の大切さを周りの人に伝えていくことを学びました。

また、使い古した天ぷらあぶら等を利用してつくる「廃油キャンドル」や、少ない洗剤で、きれいに洗える「アクリルたわし」を見て、色々な川にやさしい取り組みがあることを知りました。